

メイキング・オブ・「箱根火山」展(3) ～展示趣向編～

おかげさまで、7月19日に特別展「箱根火山～いま証される噴火の歴史」がオープンしました。展示を開催するにあたっての資料収集や、事前の準備(アンケート)、地質模型作り等は前号および前々号で紹介しましたので、今回は展示を仕上げるにあたって苦労した点や趣向を凝らした点等を紹介したいと思います。

今回の特別展は、当館が2004～2006年にかけて行った総合研究「箱根火山-箱根火山および箱根地域の新しい形成発達史-」の研究成果の公表の場にあたります。この総合研究が完了するにあたり、神奈川県立博物館調査研究報告書(自然科学)13号を刊行しました。本書は、14編の論文と2編の資料から構成されています。最新の情報が満載で、たいへん詳しく、また難しい内容です。この調査研究報告書に基づいて特別展の構成を考え、図録を作成しました。この特別展図録は執筆・編集した本人が言うのも何ですが、かなり良くできた印刷物になったと思います。

と、ここまでは非常に順調に來たのですが、展示を作り上げていく段階で問題点が生じました。それは、とても難しい内容の調査研究報告書がベースになっているので、展示自体が難しくなってしまったことです。今回の「新しい箱根火山の形成史」は、最新の学説の紹介でもありますから、ある程度は難しくなるのは仕方ないのですが…。さらに、箱根火山の生い立ちを語る上で必要な岩石や火山灰はとても地味な色合いのために、展示自体が灰色や茶色系になってしまうという問題点も生じました。そこで、一通りの展示が完成した後で、「軽石キャラクター」を使って説明を補填することにしました。特別展図録の中で軽石キャラクターは、イラストとして登場しますが、展示では実物の軽石を使った人形として登場させました(図1)。軽石キャラクターには3種類あります。箱根のカルデラをつくる原因となった大噴火の軽石堆積物であるTCu-1とTam-1、そして箱根火山の噴火史の中

で最大の火砕流を出したTPです。これらのフィールドニックネームは、順にドوران、アラレ、東京軽石となっていますので、軽石キャラクターもそれぞれの名称をつけました。そして、展示の中でドランくんにはトリビオ的な内容を、アラレちゃんには子どもにもわかるように展示内容をやさしく解説、東京軽石くんには用語解説をしてもらうことにしました。軽石キャラクターの説明を読むだけでも面白いかと思えます。是非、軽石キャラクターのセリフにも注目して展示を見てください。

さて、軽石キャラクターの登場で、展示自体が少しだけ賑やかに、また派手になりました。しかし、子どもが楽しめる展示かという点、まだかなり問題があります。展示のレベルをできるだけ易しい方向にしたいと考えたのですが、どう頑張っても小学生レベルまで展示内容を易しくすることができませんでした。そこで考えたのが火山噴火実験です。例年、普及事業で行っている、笠間学芸員の火山噴火実験はたいへん好評です。夏休みに行う講座では、応募多数のため必ず抽選になります。この火山噴火実験を、特別展示室の片隅で、週1～2回のペースで実施する計画を考えました。この企画により、小学生も楽しむことができる特別展を狙いました。笠間学芸員が行う火山噴火実験は、廃油と砂を用いて専用の展示台の上で成層火山を作っていくというものです。これだけですと二番煎じで新鮮さがありません。そこで考えたのが、通常の火山噴火実験の拡大版にあたる「箱根火山をつくろう」です。今回の特別展示の目玉の1つは、新しい箱根火山の形成史です。従来の説では、

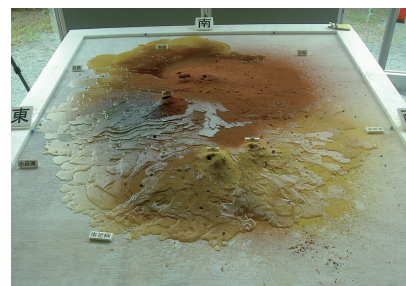


図2 特別展示室で実施している「箱根火山をつくろう」の実験。湯河原火山まで完成!

箱根火山は50～25万年前に巨大な成層火山ができたと考えられてきました。しかし、新しい説では、巨大な成層火山はなく、複数の中～小規模の成層火山ができたと考えられています。そこで1.6m×1.2mの板に、複数の噴火口を作り、噴火実験によっていくつもの成層火山をつくることで、新しい説に沿った箱根火山を作り上げる実験を行うことにしました。この原稿を書いている段階では、順調に成層火山群ができつつあります(図2)。しかし、この先、油が腐ったり、板が曲がったり、どうなるかはわかりません。計画では、特別展の最終日にあたる11月9日の午後に冠ヶ岳が噴火して、噴火実験が完了する予定です。こちららもあわせてお楽しみください。なお、箱根火山の成長の様子は、下記の博物館ホームページで見ることができます。

今回は、軽石キャラクターと火山噴火実験の簡単な解説をしましたが、展示物の目玉「東京軽石の巨大剥ぎ取り」(前々回、第14巻1号p.8で紹介)が展示室にどのように展示されているか、これにはどんな意味があるのか等をはじめ、まだまだ紹介したいことがたくさんあります。是非、特別展をご覧になってください。



図1 軽石軍団出陣! ぼくたちが展示を解説します!

自然科学のとびら
第14巻3号(通巻54号)
2008年9月15日発行
発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館
館長 齋藤靖二
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23-8846
http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html
編集 石浜佐栄子
印刷所 朝日オフセット印刷株式会社

© 2008 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.

